

第59回 渋川摂食嚥下研究会レポート

日 時：平成31年4月2日（火）
午後7時00分～

会 場：ほっとプラザ4階大会議室

平成最後の摂食嚥下研究会です。花冷えが続き、桜の開花も小休止の様相…お花見には少し早いようですね。今日は渋川看護学校の講義も受け持つ木下先生の講演で、普段、学校で行っている授業をすこしアレンジした内容となりました。

I 講演：『咀嚼・嚥下機能の加齢変化とアセスメント ～健口寿命延伸を目指した管理について～』

講師：群馬県立小児医療センター

歯科・障害児歯科 部長 木下 樹 先生

「口から食事をしていないのに何で歯をみがくの？」



数年前までは、こんな質問が患者様ご家族からけっこう聞かれることもあったそうです。

今日の講義を受けた方は明快にその理由を見直せたのではないで

しょうか？

日本人の死因として長年トップ3に入っていた「肺炎」は平成29年より「誤嚥性肺炎」と「肺炎」に分かれたことによって順位は下がったそうですが、両方の数を足すと依然として3位となり、死因として減少した訳ではないとのこと。口腔ケアと肺炎が密接な関係にあることを考えると、まだまだ気を付けていかなければならないようです。

もちろん、いろいろな嚥下機能のアセスメント（評価）も大事ですが、明日からしてほしいことは「患者（利用者）さんの変化に気づくこと」だそうです。実践してみましょう。

参加者内訳

職種	参加人数
医師	4
歯科医師	7
保健師・看護師	16
歯科衛生士	8
ST・OT・PT	9
栄養士	7
MSW・相談員	2
ケアマネ	2
介護員	40
その他	5
合計	100



オーラルフレイルは可逆的！

- 「歯・口の機能の虚弱」のこと。
- サルコペニア、ロコモティブシンドロームの前兆の一つ。
- 「社会性」「バランスの良い食事」「歯・口の定期的な管理」「運動」を維持することが健康長寿につながる。
- 「ささい」な歯・口の機能低下を軽視しないことが重要！
- 定期的に歯・口の健康状態を歯科医院でチェックし、歯周病やむし歯、歯を失ったときに速やかに治療を受ける。

明日から実践できるアセスメント

ささいな変化を見逃さない！

【本日の講演会資料より抜粋】

Ⅱ 『ずう〜っと食べ体操』DVDができました♪

前回、音楽CDができたことをご報告しましたが、今度は初めての方でも見てすぐに取り組めるDVDができました。研究会の皆様、仕事が早いです。

そしてYou Tubeでも見ることができますので、ぜひ施設などで取り組んでみてください。1部と2部あわせても、5分程度。お口の健康のために今日から取り組みましょう。

CD、DVDがほしい、見てみたいという方は渋川地区在宅医療介護連携支援センターまでお問合せください。

「ずう〜っと食べ体操」実施方法の動画…

You Tubeで「渋川市 ずう〜っと食べ体操」を検索

または右のQRコードから見るができます。

連携支援センターのホームページからもリンクしています。



★次回のご案内(予定)★

第60回 渋川摂食嚥下研究会

日時：平成31年6月 4日(火)午後7時～

会場：渋川ほっとプラザ4階

テーマ：『60回記念大会！』

① 講演「渋川地区における嚥下調整食ルールの策定に向けて」

講師：上之原病院 管理栄養士 粕川まどか 先生

② メーカー対抗 嚥下調整食 試食大会

「嚥-1 (エンワン) グランプリ パート2」

連絡先：渋川地区在宅医療介護連携支援センター 高橋・成田・西澤

<住所> 渋川市渋川(長塚町) 1760番地1 渋川ほっとプラザ2階

<TEL> 0279-26-3990 <FAX> 0279-26-3903

<E-mail> shibu-renkei@mail.gunma.med.or.jp